

日税メールステーション 特別号

海外基本情報

第21回 ラオス編(1)

メールマガジンをお読みの皆様こんにちは、株式会社コアブリッジの柳です。
今号からラオス編に移ります。

■ラオス概要

ラオス人民民主共和国(Lao People's Democratic Republic)は、中国、ベトナム、カンボジア、タイ、ミャンマーに囲まれた、インドシナ半島の内陸にある、ASEAN で唯一海に接しない国です。面積はだいたい日本の本州と同じくらいですが、人口は2015年時点で649万人で、首都ビエンチャンでも人口82万人と、他国と比べると国民の数は少ないといえます。実際に、ビエンチャンの街も非常にこじんまりとしています。

※数字はラオス統計局 <<http://lsb.gov.la/en/index.php>> から引用。

社会主義政党による一党独裁体制が布かれています。実際には資本主義が多く取り入れられています。ちなみに、街のあちこちに、ラオスの国旗とともに旧ソビエト連邦の国旗(赤字に黄色い鎌と鎚)が掲げられているのが印象的です。

タイやミャンマーと同じく上座部仏教の国で、街中に寺院が点在します。どの寺院も華やかな色彩で、しかもとても綺麗な状態で維持されているのが特徴的です。

言語はラオ語で、文字の形状も含めて、タイ語と似ています。ラオス南部は国土の南西側をタイと接していて、タイのテレビ放送を受信できるため、タイ語を理解する人が多いようです。実際に滞在していたホテルでも、タイの番組を放映しているチャンネルがいくつもありました。

英語はあまり通じません。外国人が出入りするホテルや商業施設では英語での対話が可能



メコン川沿いの広場。ラオス国旗と旧ソ連の国旗が並んでいます。

能ですが、他国と比べると達者な人は少ない印象です。空港で政府の職員と話をしたり、街中で課題活動中の大学生からアンケートを受けたりしましたが、どちらもやりとりは少し大変でした。

通貨は Kip (キープ。LAK と表記) です。この原稿を書いている時点でのレートはおよそ 1 JPY = 70 LAK で、現地通貨額を2桁切り下げて 1.5 倍すると日本円換算になります。

ラオスキープ以外にも、米ドルやタイバーツが流通しており、外貨支払いが可能な場合には価格表に3通貨の金額が表示されています。

物価はものによりますが、物品の価格は日本の半分かくらい、サービスや飲食などの料金は、感覚的に四分の一くらいです。

日本との時差はマイナス2時間(日本の9時は現地の7時)です。

気候は熱帯に属し、雨季(5~10月)と乾期(11~4月)に別れ、最高気温は40度に達しますが、北部では最低気温は15度にまで下がります。南部にあるビエンチャンでも気温がかなり下がることもあり、実際に私が滞在していた時でも雨上がりには肌寒く、上着が欲しいくらいの日もありました。

治安は比較的良いです。夜は、首都ビエンチャンでさえも、街灯が少なく街が暗くなってしまっているので、一人歩きを避けるか十分注意する必要がありますが、日中は物騒な思いをすることは、他国と比較して、そうはありません。ぼったくりに出くわすことが少なく(滞在中はその素振りすら見られなかった)、それだけでも安心感はかなり違います。

外でトイレに行きたくなった時のこと、有料の公衆トイレ(アジアの国ではよくあります)を見つけ入ろうとしたが、あいにく小額紙幣がありません。緊急事態(!) ゆえ、やむなく手持ちの一番小さな紙幣を受け付け(?)の老人に出したところ、「お釣りの手持ちがないので、くずしてくるから先に用を足していてくれ」とのこと。『ああ、これはやられたかな...』と思いつつ済ませて外に出ると、ちゃんとお釣りを用意して渡してくれました。ささいな、そして日本では当たり前のことですが、こんなことから印象は変わってくるものです。

3G Prepaid Internet Sim				
1.	200 MB	= 3 S	= 25,000 kip	= 100 ¥
2.	470 MB	= 5 S	= 40,000 kip	= 160 ¥
3.	1,500 MB	= 9 S	= 70,000 kip	= 300 ¥
4.	2,700 MB	= 13 S	= 100,000 kip	= 420 ¥
5.	Unlimited (7-15 days)	= 15 S	= 120,000 kip	= 500 ¥
6.	5,320 MB	= 18 S	= 140,000 kip	= 580 ¥
7.	Unlimited	= 30 S	= 240,000 kip	= 1,000 ¥

4G Prepaid Internet Sim				
8.	200 MB	= 5 S	= 40,000 kip	= 160 ¥
9.	5,320 MB	= 20 S	= 160,000 kip	= 680 ¥
10.	12,488 MB	= 30 S	= 240,000 kip	= 1,000 ¥

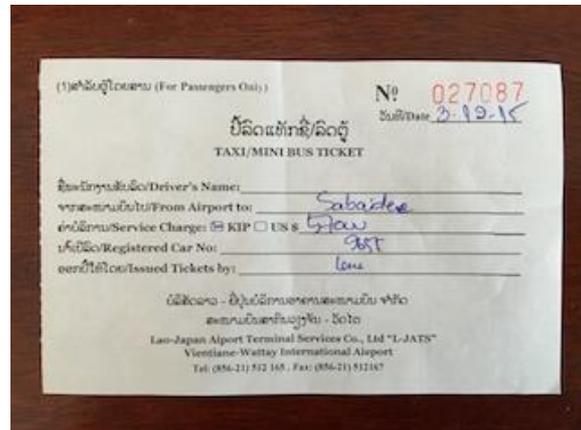
± May you enjoy in your trip travel ±

空港で売られている携帯電話 SIM カードの価格表。ラオスキープ、米ドル、タイバーツの3通貨で金額が表示されています。

■ラオスの入出国

首都ビエンチャンの空の玄関口はワットアイ国際空港です。バゲージクレームが1つのみの、とてもこじんまりとした空港です。

滞在期間が 15 日以内であれば、観光・商用問わずビザは不要です。入国手続きも、イミグレーションでパスポートと入国カードを提示するのみです。



左:ワットアイ国際空港。簡素でこじんまりした空港です。
右:タクシー券。左の写真の右側に写っているカウンターで購入します。

■入国後の三タスク

毎度おなじみの、両替と移動手段確保と携帯電話の SIM カード調達方法です。

両替は、バゲージクレームのあるフロアの出口か、空港ロビー内にある銀行のブースで行えます。

空港から市街地への移動手段はタクシーです。カウンターでタクシー券を買います。このため、到着時のタクシーの客引きがなく、だいぶ気が楽です。市街地までのタクシーの料金は、車種によって異なりますが、普通車で 57,000Kip (約 850 円) です。この時に乗ったタクシーの車両はエアコン付きの新車で、非常に快適でした。空港から市街地までは比較的近く、10～15 分程度です。

携帯電話の SIM カードは、タクシー券を買ったカウンターの隣で販売されていました。3G 方式の通信のみ(通話なし)、1.5GB の通信上限で 70,000Kip (約 1,000 円) でした。ちなみに、ビエンチャンはメコン川を挟んでタイと接する位置にあるため、タイの携帯電話の電波がギリギリ届きます。

今号は以上で終了です。次回はラオスの歴史をお届けします。

ではまた次号でお会いしましょう。

※本文中の数値や URL 等は執筆当時のものです

執筆者

柳 恵太 (やなぎ けいた)

株式会社コアブリッジ代表取締役。

ソフトウェア開発会社、メーカー、教育ベンダーを経て、2014年に株式会社コアブリッジを設立。これまでの、システム開発の上流から下流、受託側から発注側、エンジニアからプロジェクトマネージャー、ユーザーと開発者、企画・営業・開発・提供、日本と海外、社員から経営者といった、組織における幅広い役割を活かし、主に IT 企業向けの人材育成やコンサルティング等のサービスを提供している。

情報提供元:



株式会社コアブリッジ

<http://www.corebridge.co.jp/>

※本コラムは、<http://www.corebridge.co.jp/column.html> でもご覧になれます。